

山口県立総合医療センターだより

2017.11
vol.30



【基本理念】
県民の健康と生命を守るために
満足度の高い医療を提供する

Contents

■ トピックス	1・2・3
■ 診療情報	4
■ 看護部通信	5
■ 地域医療連携ニュース	6
■ お知らせ	7
■ 外来診察予定表	別紙

院内コンサート

鮮やかな紅葉の季節となりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、秋から連想する言葉の一つとして、「芸術の秋」があります。

当院では、毎月1回、「ちいーとコンサート」という愛称の院内コンサートが開催されており、主に県内を中心に活躍されている演奏家の方々が、患者さんのために、毎回、素敵な音色を届けてくださいます。

皆様も、機会がありましたら、是非一度お越しください。

事務部長 三原 忍



地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター

住所 〒747-8511 山口県防府市大字大崎77番地

TEL 0835-22-4411(代表) FAX 0835-38-2210

URL <http://www.ymgph.jp>

Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

トピックス



消化器病センターのご案内

消化器病センター センター長
外科 部長

須藤 隆一郎



平成29年1月に、病棟再編と同時に消化器病センターを開設いたしました。消化器病センターでは、消化器内科医、外科医、看護師、薬剤師が1つの病棟に集まって、消化管、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓など全ての消化器疾患の診療を行っています。

消化器疾患の治療法にはしばしば多くの選択肢があります。たとえばがんの場合では、内視鏡治療、手術、抗がん剤、放射線治療、血管内治療など様々な治療法が考えられます。それぞれの症例にあった最適な検査、治療法の選択をよりスムーズに行うことが、センター化の最大の目的です。

また、高齢化により複数の疾患を治療しなければならない方や、元の生活に戻るために色々な機能訓練を平行して行う必要がある方も多くみられます。このような患者さんに対して消化器病センターの医師、看護師が中心となり、消化器以外の専門医や、歯科口腔外科による嚥下機能訓練、NSTによる栄養サポート、リハビリテーション科による早期からの各種リハビリなど、種々の部門やチームと連携し、最善の医療を提供する事を目標としています。



トピックス



脳・神経疾患センターのご案内

脳・神経疾患センター センター長
脳神経外科 診療部長
藤井 正美

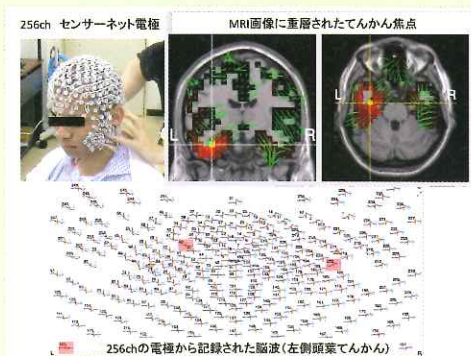


脳神経疾患センターでは神経内科と脳神経外科が連携・協力して診療に当たっています。当センターの現在のトピックスは3つあります。

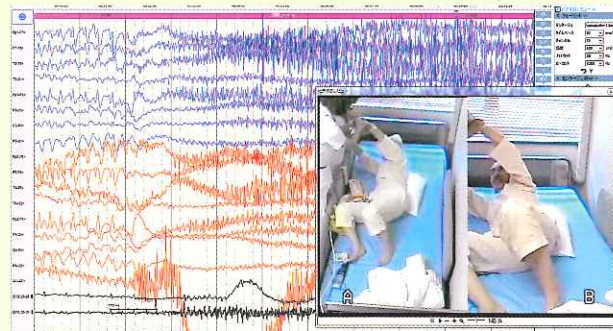
まず、256チャンネルの頭皮上電極から記録ができる高密度脳波検査装置(国内に数台)と長時間(通常5日間)連続して脳波とビデオを同時に記録できる装置を用い、最先端の高度なてんかんの診断と治療(薬物及び手術)を提供しており、小児から成人まで幅広く対応できます。

第2に薬剤抵抗性のパーキンソン病や振戦(手のふるえ)に対して、手術で脳内に電極を植込み、脳を電気刺激する手法(脳深部刺激療法)で症状を緩和します。その症例数は中四国地区でも上位に位置しています。

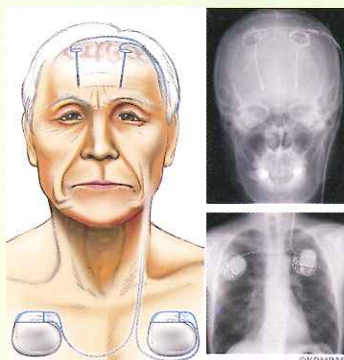
第3に脳血管内治療があります。脳梗塞に対してまず点滴治療を行いますが、血栓が溶けない場合、カテーテルを脳内の血管に挿入し、血栓回収術を行います。内科と外科が迅速に対応できる体制を構築しており、発症直後に強い麻痺がみられても、治療後に劇的な回復を示す患者さんもかなりおられます。



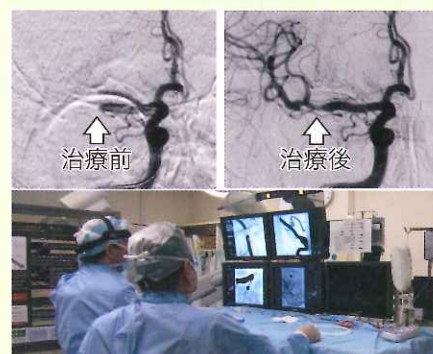
高密度脳波検査



ビデオ脳波同時記録検査(発作時)



脳深部刺激療法



血管内治療(脳血栓回収術)

トピックス



心臓病センターのご案内



心臓病センター センター長
循環器内科 診療部長
池田 安宏

人口の高齢化によって、心血管疾患の罹患率は上昇しています。現在、心臓病は死因第2位の病気ですが、高齢患者さんにおいては、問題は心臓だけでなく腎臓や肺・脳血管にもまたがっていることが多く、最適な医療を提供するためには、様々な専門職種のノウハウが必要です。これらの様々な問題をかかえた心臓病患者さんに、最善の医療をスピーディーに提供できるように、平成29年1月に循環器内科・心臓血管外科・救急科の合同チームとして、「心臓病センター」が4階南病棟に発足しました。

虚血性心疾患（急性心筋梗塞、狭心症）やうっ血性心不全に対する24時間体制の診療はもちろんのこと、深部静脈血栓症や肺血栓塞栓症などの血栓症、あるいは肺高血圧症などの稀少な循環器疾患への最先端医療を提供すべく日々努力を重ねています。循環器内科医師によるカテーテル治療（虚血性心臓病に対する冠動脈ステント植込術や頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション）、心臓ペースメーカー植込術、心臓外科チームによる開胸外科手術など、豊富な症例数を有しています。また、包括的な全身ケアを提供する看護チーム、病棟薬剤師による薬剤指導と管理、リハビリテーション科医師と理学療法士による心臓リハビリテーション、管理栄養士による栄養指導など、多職種による包括的な心臓病治療が提供できるチーム医療を推進しています。

地域の先生方とともに患者さんの心臓病と闘うパートナーとして、信頼される心臓病センターをめざし、県内最高レベルの医療を提供できるよう日々取り組んでいきます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

診 療 情 報



呼吸器外科

外科 部長 金田 好和



当科では、心臓と食道を除く胸部臓器に対する診断や治療を行っており、主な疾患として肺癌があります。当院での肺癌手術の多くは低侵襲の胸腔鏡を用いて行われます。術前から多職種が連携して、がんリハビリテーション・周術期口腔ケア・栄養管理を行うことにより合併症の低減に努めていますので、ご高齢の患者さんにも安全に手術を受けていただいています。

また、手術ができない進行肺癌の患者さんに対しては、進歩の著しい薬物治療（分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）を行い、QOLを維持しながら生存期間を延長できるようになってきました。

血管外科

外科 部長 山下 修



当科では大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈系疾患等を中心に診療を行っております。動脈系疾患のうち拡張型疾患では胸部・腹部動脈瘤、四肢の動脈瘤、内臓動脈瘤など、閉塞型疾患では閉塞性動脈硬化症、動脈塞栓症などが、静脈系疾患では下肢静脈瘤や深部静脈血栓症などが対象となります。

扱う対象は基本的には良性疾患ですので、患者さんのご希望がまず優先されるものと考えています。薬物療法が可能な疾患であり、これが適している場合には保存的加療を行っております。

手術に関しては、体に優しい低侵襲手術や質の高い（術後の生活の質を高める）手術を目指しています。特に血管内治療（カテーテル治療）手技を積極的に取り入れ、外科的治療と組み合わせたハイブリッド手術により、さらに低侵襲化を図っています。

常に最高の治療を提供できるように、引き続き努力してまいります。



看護部通信

急性期医療を担うスペシャリストの役割

ICU（急性・重症患者看護専門看護師）

藤本 晃治

当院には、急性・重症患者看護専門看護師1名、集中ケア認定看護師2名、救急看護認定看護師1名の計4名のスペシャリストがICU、HCUに配属されています。私たちは重症度や侵襲度が高くや生命の危機に瀕して集中治療・看護が必要な患者さんが、順調に回復していただくことを目標に医療チームの一員として活動しています。看護師は他の職種に比べ患者さんに接する時間が長いため、患者さんの状態変化にいち早く気づき多くの情報を得ることができます。

私たちスペシャリストは、患者さんが最適な医療や看護が受けられるよう、医療チームへの提案や多職種との協働や調整を行っています。また、一般病棟で人工呼吸器を装着している方や呼吸に関して苦痛を感じている方を対象に、呼吸ケアチームの一員として定期的なラウンドを行っています。酸素療法や呼吸リハビリ、口腔ケアなど、医師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士と共に呼吸状態だけでなく、全身状態の改善を目標に実践やケアの提案をしています。

今後もスペシャリストとしての強みを生かし、患者さんの苦痛緩和や早期回復の支援を行い、質の高い急性期看護を提供していきたいと思っています。



多職種参加のカンファレンス



人工呼吸器装着下でのリハビリ

※患者さんのご家族の了承をいただき掲載しています

地域医療連携ニュース

がん相談支援センターのご紹介

がんと診断された時から、患者さんはさまざまな選択を迫られます。治療のこと、療養上のこと、仕事のこと等…。気持ちがついていかないこともありますね。そんな時には、がん相談支援センターにご相談ください。がん専門相談員がお話をうかがうことで、解決の糸口を見つけるお手伝いをいたします。がんのことを知っていただくための各種がん冊子も提供できます。



無料配布 各種がん冊子

がん相談支援センター

【窓口】

1階正面玄関横

TEL：0835-22-5145（直通）

FAX：0835-22-5745（直通）

E-mail：soudan@ymghp.jp（専用）

【担当者】看護師、医療ソーシャルワーカー

【相談時間】8時30分～17時15分（平日）

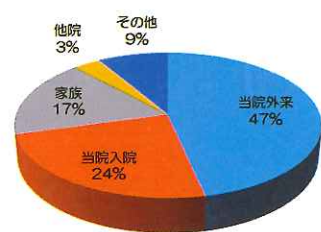
きららサロンのご紹介

きららサロンは、がん患者さんやそのご家族が集える院内がんサロンです。平成21年9月スタートから8年が経過しました。毎週火、金曜の10時半～15時まで2階待合室にて開催しています。これまで、延べ3,650人の方に利用していただいております。当院を受診されていない方も利用していただけます。サロンでは、ボランティアのスタッフの方々がお話を聞いてくださいますし、患者さん同士の交流もできます。がんに関する書籍の貸し出しや、インターネットの利用もできますのでお気軽にご利用ください。

～場所のご案内～



きららサロン利用者内訳



■当院外来 ■当院入院 ■家族 ■他院 ■その他

お知らせ



○県民公開講座

演 題：「血液がん治療最前線」
 ～リンパ腫と骨髄腫の治療の進歩～
 講 師：血液内科 診療部長 高橋 徹
 場 所：防府市アスピラート
 (防府市戎町 1-1-28)
 日 時：平成 29 年 12 月 2 日(土)
 13：00～15：00
 ※講演は 14：00～15：00
 ※13：00から「医師、薬剤師による健康
 相談コーナー」「看護師による血圧測
 定・体脂肪率測定」を開設します。受
 講料・相談料は無料、事前の申込みも
 不要です。お気軽にご相談ください。

○きららサロン

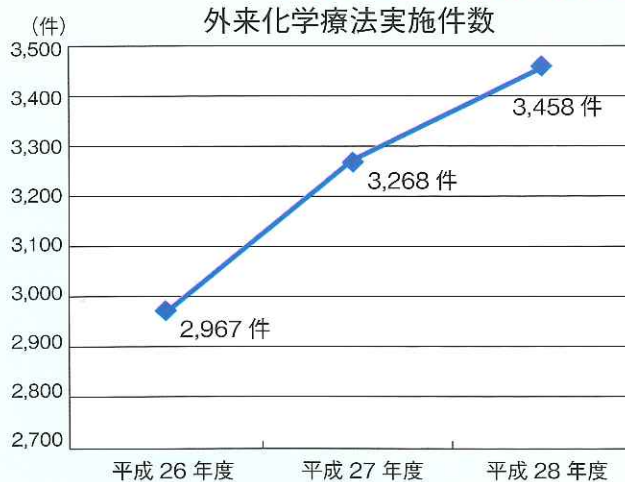
対 象：がん患者さん・ご家族
 場 所：当センター外来棟 2 階
 会議室前コーナー
 日 時：毎週火・金曜日 10：30～15：00

○きららサロンミニ講座

がんと向き合う日々のためのミニ講座 25

「頭髪や皮膚ケアについて」
 日 時：11 月 14 日(火) 13：00～14：00
 講 師：がん化学療法認定看護師 村田佳子
 場 所：当センター外来棟 2 階第 1 会議室

外来化学療法件数の推移



外来化学療法の件数が増加しています。
 当院では乳房と直腸の悪性新生物、関節
 リウマチに関するものが多く、その他の疾
 患についても多岐にわたって治療を行っ
 ています。



○やまぐち医療最前線

※内容は両日も同じです。

放送日時	放送局	放送内容	出演医師
11月 4日(土) 18:55～19:00	tys テレビ山口	「チーム医療で取り組む人工関節手術」	田中 浩 医師
11月 8日(水) 16:50～16:55			

○編集後記

今号ではトピックスで当院のセンター長3人があいさつさせていただいております。各センターでは多職種の職員が協力して、専門的なチーム医療を行っており、今後ますます患者さんに高度な医療が提供できるようになっていくと思います。

診療情報は、呼吸器外科と血管外科を掲載しています。当院には様々な分野での専門の医師が在籍しておりますので、是非診療情報もご覧ください。

そぞろに冷たい日が続いておりますが、どうぞご自愛ください。

(総務課 E.I)